

5. 呼吸器内科（必修）

1. 一般目標（G I O）

呼吸器疾患の中で発症頻度の高い疾患群についての的確な検査や診断が出来、呼吸器疾患患者に対する基本的な処置や検査手技および治療法を身につける。

2. 具体的目標（S B O s）

- (1) 呼吸器系の形態や機能について理解し、説明することができる。
- (2) 呼吸器疾患患者の病歴聴取・診察を正しく行うことができる。
- (3) 胸部X線・CTの画像診断ができる。
- (4) 動脈血ガス分析・肺機能検査について内容を把握し、説明することができる。
- (5) 肺炎・肺結核などの呼吸器感染症の病原診断および適切な抗菌薬選択ができる。
- (6) 肺がんの病期診断および適切な治療方法の選択を行うことができる。
- (7) COPD・間質性肺炎・肉芽腫性肺疾患など慢性疾患の診断と治療ができる。

3. 方略

(1) 病棟業務

- 1) 定められた上限の患者数に達するまでは、原則新規入院患者の担当医となり、診療に従事する。
- 2) 期間中に行われる気管支鏡検査についてはすべて加わり、手技・検査方法につき学ぶ。
- 3) 毎週月曜日の総回診時には受け持ち患者のプレゼンテーションを行い、治療指針等を検討する。
- 4) 月曜日から金曜日の8時30分および16時30分からの回診に参加する。

(2) カンファレンス

毎週月曜日午後の病棟回診後に、症例カンファレンスを行う。必要時に呼吸器外科と合同で手術症例の検討を行なう。

(3) 週間スケジュール（研修医）

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後	病棟回診	気管支鏡検査	病棟業務	気管支鏡検査	気管支鏡検査

4. 評価

- (1) 形成的評価：カンファレンスにおいてフィードバックを行う。
- (2) 総括的評価：EPOC2にて行う。